

やまなし 市議会だより

平成20年 2月22日

第12号

— 完成が待たれる山梨市役所新庁舎 —



現在、市では市役所東市有地において「防災拠点として利用可能な」「安全で使いやすく、市民と行政が交流できる」庁舎を目指し、既存施設の有効活用を図りながら新庁舎の整備を進めています。新庁舎は9月完成予定で、2階建ての東棟（延べ床面積 4,344.5㎡）と五階建ての西棟（延べ床面積 5,912.1㎡）からなる新しい市役所に生まれ変わります。

市役所東市有地整備事業関係議案を可決

平成20年秋に新庁舎へ移転予定

平成19年11月22日、平成19年第1回臨時会が開催されました。この臨時会では、市役所東市有地整備事業関係議案4件が市長から提出され、議会は原案のとおり可決しました。

また、平成19年第4回定例会は、12月4日に招集され、21日までの18日間の会期で開催されました。

この定例会では、補正予算、条例の改正など市長提出議案27件、議員提出議案3件を慎重に審議しました。この結果、すべての議案を原案のとおり可決しました。なお、請願については3件が採択されました。

おもな内容

定例会で決まった議案	2	常任委員会の審査	7
市政一般質問	3～5	平成19年第1回臨時会	8
平成19年議会審議結果等	6	議会活動日誌	8

定例会で決まった議案

【議員提出議案】

原案可決

○山議案第四号

・「公契約法」の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書の提出について

○山議案第五号

・身体障害者に対する駐車禁止除外指定の対象範囲の基準を従前の対象者を排除しないようにとする意見書の提出について

○山議案第六号

・教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための意見書の提出について

【市長提出議案】

原案可決

○議案第九十三号

・山梨市簡易水道条例の一部を改正する条例について

○議案第九十四号

・山梨市水道条例の一部を改正する条例について

○議案第九十五号

・山梨市三富交流促進センター「道の駅とみ」設置及び管理条例について

○議案第九十六号

・山梨市「花かげの郷まきおか」施設設置及び管理条例について

○議案第九十七号

・山梨市三富久渡の沢つり場設置及び管理条例について

○議案第九十八号

・平成十九年度山梨市一般会計補正予算(第六号)

○議案第九十九号

・平成十九年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

○議案第一百号

・平成十九年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計補正予算(第一号)

○議案第一百二号

・平成十九年度山梨市下水道事業特別会計補正予算(第二号)

○議案第一百三号

・平成十九年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第二号)

○議案第一百四号

・平成十九年度山梨市居宅介護支援特別会計補正予算(第二号)

○議案第一百五号

・平成十九年度山梨市牧丘簡易水道特別会計補正予算(第二号)

○議案第一百六号

・平成十九年度山梨市三富簡易水道特別会計補正予算(第二号)

○議案第一百七号

・平成十九年度山梨市水道事業会計補正予算(第二号)



定例会本会議の様子

○議案第一百八号

・訴えの提起について

○議案第一百九号

・山梨市土地開発公社定款の一部変更について

○議案第一百十号

・山梨市職員給与条例の一部を改正する条例について

○議案第一百十二号

・平成十九年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

○議案第一百十三号

・平成十九年度山梨市下水道事業特別会計補正予算(第三号)

○議案第一百十四号

・平成十九年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算(第三号)

○議案第一百十五号

・平成十九年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第三号)

○議案第一百十六号

・平成十九年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算(第二号)

○議案第一百十七号

・平成十九年度山梨市牧丘簡易水道特別会計補正予算(第二号)

○議案第一百十八号

・平成十九年度山梨市三富簡易水道特別会計補正予算(第二号)

○議案第一百十九号

・平成十九年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第二号)

請願の審査結果

今定例会には三つの請願が提出され、建設経済常任委員会及び教育民生常任委員会で

の審査の後、つぎのような結果となりました。
◆採択となったもの

○請願第一号

・「公契約法」の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する請願書

前回からの継続審査となっていた請願第一号については、建設経済常任委員会において三回にわたる閉会中の審査を経て、本会議に「採択」する旨の報告を行いました。

○請願第三号

・身体障害者に対する駐車禁止除外指定の対象範囲の基準を従前の対象者を排除しないようにとする意見書の提出を求める請願

○請願第四号

・教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願書

詳しくは会議録を

詳しい内容を知りたい方は、会議録を市民図書館、公民館、情報公開コーナーなどに備えますので、ご覧ください。

市政一般質問

代表・一般

平成19年第4回定例会の市政一般質問及び質疑は、12月17日、18日の2日間行われ、代表質問を3人の議員が、一般質問を6人の議員が行い、市政全般について市の考えをたどりました。質問と答弁の要旨はつぎのとおりです。

代表質問

市政会 丸山正一



〈質問事項〉

- ・横内県政との対応について
- ・平成二十年度予算編成に向けて
- ・県内十三市における市税等について
- ・新庁舎移転後の現敷地建物の対応について
- ・移住促進の施策、充実、強化について
- ・健康を第一に考える都市づくりについて
- ・森林セラピー基地の今後について
- ・西関東連絡道路について
- ・水道審議会委員の選任基準等について
- ・旧堀之内小学校整備活用について
- ・小中学校の児童生徒のうつ病などの実態と対策について

〈主な質問と答弁〉

問 森林セラピー基地の今後について

西沢溪谷三富川浦周辺が森林

セラピー基地として、平成二十年四月にグランドオープンすると聞いているが、今後の長期展望にたった取り組みの考えは。



森林セラピー事業の拠点となる
広瀬湖ふるさと記念館

〈答弁〉

市長 本市の森林セラピー基地の長期的活用については、

ワールドミュージアム構想の市内全域への展開をも考慮する中で、万力林の森林浴ロード、乙女高原周辺の森林浴の森を三富地域の森林セラピー基地と連動した活用を図りたいと考えている。また、森林セラピーを健康づくりに位置づけるための健康相談やストレッチェックなど、保健関係に関する部分については、広瀬湖ふるさと記念館の活用や三富支所での対応を通して、当分の間は市が直接携わっていきたくと考えている。

問 旧堀之内小学校整備活用について

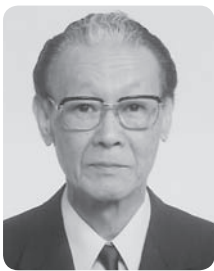
今後は市内外の堀之内小関係者等で委員会を立ち上げるなど、今後の具体的な進め方についてはどうか。

〈答弁〉

教育長 市においては、六月に

教育委員会及び関係各課で旧堀之内小学校活用庁内検討委員会を組織し、現況と諸々の課題及び今後の予定について確認した。このたび、八幡地区実行委員会の皆様のご苦勞により、地域の意見として、生涯学習の場としての活用、また、高齢者を対象とした施設及び宿泊施設などをはじめ、百項目を超えるご意見が出された。これらも踏まえて活用方策を探るとともに、広く市全体としての観点から、地域の発展につながる議論が図れるような新たな組織づくりを検討しているところである。

中清会 野澤重幹



〈質問事項〉

- ・新年度予算編成について
- ・新庁舎移転後の跡地利用について
- ・後期高齢者医療制度について

- ・山梨市立牧丘病院について
- ・甲府・峡東地域ごみ処理施設について
- ・議案第九十三号及び第九十四号について
- ・食育推進について

〈主な質問と答弁〉

問 来年度予算編成について

来年度の予算編成は一般財源の各課枠配分方式を試行的に行うとのことだが、どのように配分していくのか。

〈答弁〉

市長 試行的に行う各課への

一般財源枠配分方式は財政担当で見込み得る市税、地方交付税、地方譲与税などの収入見込み一般財源から、義務的経費である公債費、一部事務組合に対する負担金などの経費を除いた一般財源を平成十九年度当初予算における各課の所要一般財源のおおむね10%削減し、各課に配分するものである。各課において、配分される一般財源と各課みずからが積算する特定財源により、主体的、自立的に予算編成を行うもので、限られた財源を真に必要とする事業に、優先的、重点的に配分するものである。

問 食育推進について

「キッズ・キッチンルーム」すなわち「子ども料理教室」の設置と栄養教諭の増員、幼稚園・保育園への食育教育



真和会 秋山 榮治

の充実を望むがどうか。



幼稚園・保育園での給食試食会

〔質問事項〕
平成十八年度決算と平成二十年
度予算方針について
本市のまちづくりについて
旧果樹試験場跡地の活用について
総務大臣表彰について
滞納整理に対する新組織について
議案第九十八号に関連して
オーチャードヴィレッジ
「フフ」の運営について
農振除外と大型店の出店計画
画について
道路関係について
本市のフィールドミュージ
アム構想について
教育関係について

〔主な質問と答弁〕
平成十八年度決算と平成二十年
度予算方針について
平成二十年
度新たに計画される
主要事業について伺いたい。

〔答弁〕 市長
平成二十年
度の主要事業の
主なものとしては、
継続事業である小
中学校の耐震補
強工事や、野
背坂線改良事業、
地域交流セン
ター整備等のま
ちづくり交付金
事業、万力地区
土地改良事業、
三富新スポーツ
広場整備事業等
の整備及び平成
十八年度から三
年間の継続費を
設定してある市
役所新庁舎整備
事業などを主要
事業として考え
ている。

〔質問事項〕
旧果樹試験場跡地の活用
について

〔答弁〕 市長
平成九年の
新しい果樹試験
場新設以降、
市長会が毎年
提出している
果樹撤去案及び
予算に関する
提案、要望書
の中で、跡地
への広域的な
文化、教育、
スポーツ施設
整備を継続し
て要望している
ところであり、
県からは活用
のあり方、地
域の要望等を
勘案する中で
検討していき
たいとの回答
をいただいで
いる。ソフト
ボール、サッ
カー、野球な
どの競技場と
して活用でき
るグラウンド
が少ない本市
の状況を考え
ると、約二万
八千平方メー



耐震補強工事が予定されている山梨北中学校

トルの面積を有する旧果樹試験場跡地は絶好の適地でもあり、一つの有効な活用方法だと考えている。

〔質問事項〕
平成十八年度決算による「公債費」の状況に対しての市長の考えについて
市内でNPO活動を実践している人たちの連携について
精神障害者のための地域活動支援センターについて

〔主な質問と答弁〕
市内でNPO活動を実践している人たちの連携について
本市におけるNPO法人の活動や連携などについて

〔質問事項〕
万葉うたまつりについて
重川右岸のサイクリングロードの改修について
自殺防止について
住宅着工戸数について
全国学力テストの結果について

〔主な質問と答弁〕
重川右岸のサイクリングロードの改修について
サイクリングロードは、機能性や安全性について全面的に再点検が必要な時期ではないかと思うがいかがか。

一般質問

中清会

小野 鈴枝

〔質問事項〕
平成十八年度決算による「公債費」の状況に対しての市長の考えについて
市内でNPO活動を実践している人たちの連携について
精神障害者のための地域活動支援センターについて

〔主な質問と答弁〕
市内でNPO活動を実践している人たちの連携について
本市におけるNPO法人の活動や連携などについて

〔質問事項〕
万葉うたまつりについて
重川右岸のサイクリングロードの改修について
自殺防止について
住宅着工戸数について
全国学力テストの結果について

〔主な質問と答弁〕
重川右岸のサイクリングロードの改修について
サイクリングロードは、機能性や安全性について全面的に再点検が必要な時期ではないかと思うがいかがか。

ほか、社会体育や国際交流などの分野においてもNPO法人との連携、協力による事業を実施している。

真和会

仲澤 正巳

〔質問事項〕
重川右岸のサイクリングロードの改修について
サイクリングロードは、機能性や安全性について全面的に再点検が必要な時期ではないかと思うがいかがか。

〔答弁〕 市長
重川橋の架け替え後のルートは、右岸堤防場より、今回施工する歩道部に接続し、横断歩道を利用して進行するようにする。したがって、現在の重川橋けた下を利用しての路線は廃止となる。また、サイクリングロードも供用から三十年以上経過し、老朽化した箇所も目立ってきている。道路管理者としても、利用者の皆様に快適にご利用いただけるよう定期的なパトロール

〔質問事項〕
重川右岸のサイクリングロードの改修について
サイクリングロードは、機能性や安全性について全面的に再点検が必要な時期ではないかと思うがいかがか。

〔答弁〕 市長
重川橋の架け替え後のルートは、右岸堤防場より、今回施工する歩道部に接続し、横断歩道を利用して進行するようにする。したがって、現在の重川橋けた下を利用しての路線は廃止となる。また、サイクリングロードも供用から三十年以上経過し、老朽化した箇所も目立ってきている。道路管理者としても、利用者の皆様に快適にご利用いただけるよう定期的なパトロール

を実施し、危険箇所は改修等を行いながら、機能性、安全性の確保に努めていきたい。



架け替えが予定されている重川橋とサイクリングロード

真和会

古屋 保男

〈質問事項〉

- ・地域振興（活性化）について
- ・山梨市市政功労者表彰規則について
- ・水道料金及び水道の整備計画について
- ・オーチャードヴィレッジ「フフ」の運営について

〈主な質問と答弁〉

問 地域振興（活性化）について

市の活性化を一層図るため、「ふるさと市民制度」の制度化について市長の所信で述べられていたが、この制度の内容および取り組み方法等を伺いたい。

答弁 市長

ふるさと市民制度は、本市出身者などにふるさと市民として登録していただき、本市のまちづくりにさまざまな分野で応援、貢献、協力、参加していただくことを目的として創設するものである。登録していただくのは、本市出身者ばかりではなく、本市を訪れた観光客、友好関係にある自治体の住民、市民の親戚縁者などを想定している。登録していただいたふるさと市民には、登録証を交付するとともに、メールや携帯電話のアドレスをあわせて登録していただき、ネットワークを活用して観光情報などさまざまな情報を提供したいと考えている。また、公共施設利用の割引サービスなど登録していただいた方への特典についても検討していきたいと考えている。

日本共産党

吉田 昭男

〈質問事項〉

- ・山梨市公の施設の指定管理における諸問題について
- ・地方税・社会保険料の滞納と回収方針等について
- ・後期高齢者医療制度について
- ・山梨市交通・火災共済の改

善について
水道料改定問題について

問 地方税・社会保険料の滞納と回収方針等について

県と市町村の税務担当者でつくる「県地方税徴収対策研究会」に参加し、県の指導方針に沿って強力な滞納整理を行っていく考えを持っているのか。

答弁 市長

県地方税徴収対策研究会は、全国に比較して劣っている徴収率の現状を改善するため、県と県内市町村の税の徴収を所管する課長をメンバーとして、本年五月に結成されたところである。これまで六回の会合を重ね、原因の分析と対策について検討を行ってきた。その結果、県と市町村が連携を深め、高額な納税事案等を共同処理することを目的とした新たな徴収体制として、平成二十年四月一日から、山梨県地方税滞納整理推進機構（仮称）の創設をすることになった。本市においても、この機構に参加、職員の出遣も予定しており、所得や資産があるにもかかわらず、自主納税しない悪質滞納者にはこの機構の枠組みを活用した滞納整理を進めていく。

真和会

岩崎 友江

〈質問事項〉

- ・職員の健康管理について
- ・「市民の日」を設けることについて

〈主な質問と答弁〉

問 「市民の日」を設けることについて

次世代を担う子ども達はもとより、住民の手により、住民皆参加の日とするような祭典「市民の日」の制定を望むが、このような考えはないか。

答弁 市長

現在、市が進めているフィールドミュージアム構想も、本市の人、地域、歴史などの風土を再発見し、それを継承しながら魅力あるまちづくりを進めていくことを目的としており、郷土愛に裏付けられた市民の主体的な活動を期待するものである。市民の日の制定もふるさとを見つめ直す一つのきっかけにはなると思うが、こういった取り組みを着実に進めながら、今後の研究課題とさせていきたい。

公明党

大竹 裕子

〈質問事項〉

- ・NPO法人の拠点施設と協

働ルールブック策定について

- ・山梨市立牧丘病院について
- ・不妊治療の助成について
- ・市民満足度調査について
- ・補助金公募制度の導入について
- ・発達障害児の教育支援について
- ・「子ども読書活動推進計画」について
- ・いじめ対策について

〈主な質問と答弁〉

問 不妊治療の助成について

本市においても独自の助成制度をつくり、子どもが欲しくても出来ない家庭への支援を望むがどうか。

答弁 市長

県では、平成十六年度から他の医療行為によつては妊娠成立の見込みがないか、または極めて少ないと判断される場合において、医療保険の適用がない高度な不妊治療である体外受精、顕微授精を選択せざるを得ない方々の経済的負担の軽減を図るため、一定の不妊治療に要する費用の一部を助成する特定不妊治療費助成事業を実施している。山梨市としても、さらに経済的負担の軽減を図ることを目的とし、治療に要する費用の一部を助成するため、山梨市不妊治療費助成事業の検討を現在行っているとところである。

○定例会開催状況

区分 会議別	開会年月日 閉会年月日	会期日数	本会議 日数	委員会 日数	代表 質問	一般 質問
第 1 回定例会	平成19年 3月 2日 平成19年 3月 23日	22日	5日	3日	3人	5人
第 2 回定例会	平成19年 6月 5日 平成19年 6月 25日	21日	4日	1日	3人	2人
第 3 回定例会	平成19年 9月 3日 平成19年 9月 28日	26日	4日	1日	2人	5人
第 4 回定例会	平成19年 12月 4日 平成19年 12月 21日	18日	4日	1日	3人	6人

○議会審議の状況

平成 19 年の山梨市議会では代表質問・一般質問を通して活発な議論が展開され、市長提出議案 119 件、議員提出議案 6 件を慎重に審議しました。

区分 会議別	市長提案				議員提案				審議結果									
	条 例	予 算	決 算	そ の 他	条 例	意 見 書	決 議	そ の 他	原 案 可 決	認 定	修 正 可 決	同 意	承 認	否 決	継 続 審 査	撤 回	審 議 未 了	計
第1回定	14	26		8	1			1	46			3	1					50
第2回定	12	1		10					18			2	3					23
第3回定	1	13	2	1		1			14	2			2					18
第1回臨		1		3					4									4
第4回定	6	19		2		3			30									30

(定…定例会 臨…臨時会)

平成十九年議会審議結果等を報告します

○請願の処理状況

付託常任 委員会	受 理 件 数	審議結果	
		採 択	不採 択
総務常任委員会	0		
建設経済常任委員会	2	2	
教育民生常任委員会	2	2	



一問一答方式で議論が繰り上げられる
市政一般質問

○意見書の提出状況

平成19年の山梨市議会では4件の意見書が可決されました。市議会では関係行政庁に意見書を提出し、市民の声を国政に反映できるよう要請しました。

区分 会議別	意見書	提出者	提出先
第 3 回定例会	日豪EPA交渉に関する意見書	小野鈴枝議員 ほか4名	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、財務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣
第 4 回定例会	「公契約法」の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書	高原信道議員 ほか5名	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣
	身体障害者に対する駐車禁止除外指定の対象範囲の基準を従前の対象者を排除しないようとする意見書	向山輝議員 ほか6名	厚生労働大臣、警察庁長官、国家公安委員長
	教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための意見書	向山輝議員 ほか6名	文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

常任委員会の審査

今定例会の各常任委員会は、十二月十九日に開催され、付託された議案について慎重に審査が行われました。各常任委員会における質疑の要旨はつぎのとおりです。

総務

○議案第九十八号について

問 1項総務管理費、8目企画費中、負担金補助及び交付金があるが、補助する対象は何か。



市営馬込第1住宅（三富上柚木）

答 三富地域の市営馬込第一住宅・第二住宅および市営雷第一住宅・第二住宅に対する家賃補助である。具体的には、公営住宅法に基づいた改定後の家賃と従前の家賃との差額九割を補助するものである。九月現在の対象者は十九名となっており、補助金交付要綱に基づいて年四回に分けて交付している。三富地域内に定住してもらったための定住促進施策のひとつである。

問 市税に関連して、県においては、滞納者に対し車のタイヤロックをかける等の措置を行っているが、本市においても滞納者に対し罰則を科すような形をとっていくべきではないか。

答 本市においても県と同様にタイヤロックを購入して実施する予定である。大口また悪質な滞納者に関しては、来年県において創設される地方税徴収対策研究会に徴収事務を移管して対応していきたい。

○議案第九十九号について

問 幾度か説明を受けているが、県による国民健康保険財政調整交付金の過大交付に係わる市の返還金はいくらで、返還期間はどのくらいになるのか。

答 基金の保有率に基づいて返還期間が決まることになり、本市においては十年間で返還することになる。返還金については、県の貸付金を受けて、国に一億七千四百万円余りを一括で返還し、その後、県に十年間かけて貸付金を返還する予定である。

建設経済

今定例会の建設経済常任委員会は、水道料金改定に係る議案第九十三号及び第九十四号に重点を置いた審査が行われました。はじめに当局から水道料金の見直し及び統一料金についての説明を求めた後、つぎのような質疑が行われました。（審査経過の中から主なものを抜粋）

問 水道審議会での状況は。

答 平成二十年度より水道企業団からの供給が開始されることに伴い必要となる受水費と施設整備費を含め、向こう五年間で市全体の水道事業に総額約四十七億円の経費が必要となる。一方で収入は約二十六億円の見込みである。この差額分約二十一億円の不足を回収するためには平均引上率百十・七％となり、二倍以上の値上げが必要である。まず、三十六・二％の引き上げ率で検討したが、山梨地域は引上率を三十％以内としたいとのことと二十九・六％とし、牧丘地域は現行どおり据え置き（ただし、水量区分を変更し、メーター使用料の見直しにより、現行料金より引き下げ）とし、三富地域は五十二・七％で調節していたたき、改定案の金額になった。

問 簡易水道と上水道の料金をなぜ統一しなければならぬのか。

答 合併をして同じ市民となったのだから、いずれは同じ料金の負担が良いのではないかと考えてある。審査の中では「今回の改正案は大幅な値上げであり、市民生活に与える影響が大きい」として容認できない。「値上げ幅を縮小すべきだ」との意見が出されました。一方では「水道水の安定供給のためには、負担増もやむを得ない」との意見もありました。

問 慎重なる審査の末、委員五人（高原信道委員長除く）の採決をとった結果、賛成三人、反対二人の賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定されました。

最後に建設経済常任委員会から「水道料金の改定については、広報はもちろんのこと、市民への説明会等で、将来の展望を含めた経過を説明して周知の徹底を図ると共に、運営についても事業の見直しを含め、効率的な運営をしていただきたい」との要望が市執行部に提出され、委員会は終了しました。

教育民生

○議案第九十八号について

問 晴風園の調理員委託料の増額理由について詳しく

説明を。
答 今まで、朝食については、介助員が兼務し厨房に入っていたが、衛生的に好ましくないという保健所の指導があったため、朝の二時間については、シルバー人材センターに厨房の調理員を委託するものである。

問 認知症モデル地域支援体制構築推進事業経費について、二年間の県の委託事業終了後の体制はどう考えているのか。

答 モデル事業の成果を基に市独自で事業を進めていく。経費については、委託事業において基盤づくりを行うので、平成二十一年度以降はネットワーク会議等の維持的な費用が若干かかる程度と考えている。

委員会での審査のあと、「堀之内小学校校舎」の現地調査を行いました。



堀之内小学校校舎を現地調査する教育民生常任委員会

議会活動日誌

- 12月.....平成19年第4回山梨市議会定例会 (4~21日)
-西関東連絡道路整備促進に関する要望活動 (5日)
-民生委員児童委員委嘱式 (10日)
-山梨市新庁舎整備工事起工式 (13日)
-「恋人の聖地」認定プレートモニュメント除幕式 (16日)
-議員全員協議会 (17日)
-議会運営委員会 (21日)
-山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合議会臨時会 (26日)



12月13日、市役所東市有地で新庁舎整備工事起工式が行われ、議長をはじめ市議会議員が出席しました。



1月13日、市民会館で成人式が行われ、492人が成人を迎えました。当日は市議会議員も出席し新成人を祝いました。

- 1月.....初日の出を見る集い
-「HAPPY!! 初日の出」(1日)
-平成20年仕事始め式 (4日)
-平成20年山梨市消防出初式 (6日)
-平成20年山梨市成人式 (13日)
-教育フォーラムin山梨市2008 (15日)



2月4日~6日、議会運営委員会委員が岐阜県瑞穂市などを訪れ、議会運営方法など様々な行政視察を行いました。

- 2月.....議会運営委員会行政視察 (4日~6日)
-山梨県市議会議長会議員合同研修会 (15日)

第一回臨時会 市役所東市有地整備事業関係議案を可決

【臨時会で決まった議案】

原案可決

- 議案第八十九号 平成十九年度山梨市一般会計補正予算(第五号)
- 議案第九十号 山梨市新庁舎整備建築本体工事請負契約について
- 議案第九十一号 山梨市新庁舎整備機械設備工事請負契約について
- 議案第九十二号 山梨市新庁舎整備電気設備工事請負契約について

編集後記

大寒に入ってから寒さがいつそう募っておりますが、市民の皆様にはお元気で過ごさしのことと存じます。

今回お届け致しますのは第十二号です。十二月定例会では、平成十九年度一般会計及び各特別会計補正予算などについて審議しました。

特に、水道料金見直しについては、三地域が安全で安心な水道水が供給される事など、今後の水道事業経営を維持していくために、何度も水道審議会で審議を重ね、改正の答申をいただきました。新料金体系は、本年四月から適

用されます。

市においては、様々な制度や施策を実行に移しておりますが、なかなか理解されにくい所があります。どうか各課の出前講座などをご利用ください。市民の皆様の尊いご意見をお寄せください。まだしばらく寒さが続きます。お体には十分ご自愛ください。

議会だより編集委員会

- 委員長 向山 輝
- 副委員長 大竹 裕子
- 委員 大久保光男
- 委員 山崎 峰三
- 委員 高原 信道
- 委員 雨宮 義和